

## Benjamin Nyffenegger ベンジャミン・ニフェネッガー cello



ベンジャミン・ニフェネッガーは、2008 年以來、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団の首席チェリストを務めています。彼はオリバー・シュナイダー・トリオおよびユリア・フィッシャー弦楽四重奏団のメンバーとして活躍しています。彼の国際的なキャリアは、独奏家としてだけでなく、室内楽奏者としても、ヨーロッパやアジアの主要都市に広がっています。これらの会場には、ロンドンのウィグモア・ホール、アムステルダムの子セルトヘボウ、ミュンヘンのプリンツレゲンテン劇場、ウィーンのムジークフェライン、ライプツィヒのゲヴァントハウス、チューリッヒのトーンハレ、台北の国立コンサートホールなどがあります。彼が演奏した主要な国際音楽祭には、シュヴェツィンゲン音楽祭、プラハの春音楽祭、ギュスタードのムニン音楽祭、フランクフルト音楽祭、リンツ・ブルックナー音楽

祭、モントルーのセプタンプル音楽祭、シュヴァルツェンベルクのシューベルト音楽祭、パルヌ音楽祭などがあります。ベンジャミン・ニフフェネッガーが共演した室内楽奏者には、レイフ・オーヴェ・アンズネス、ユリアンナ・アフデエヴァ、ダニエル・ホープ、マルク・ブシュコフ、サラ・チャン、ヴォルフガング・クリスト、ヴィルデ・フラン、ロベルト・ゴンザレス＝モンハス、マクシミアン・ホルヌング、ダニエル・ミュラー＝ショット、アリーナ・ポゴストキナ、マクシミアン・リサノフ、ヨルグ・ヴィドマン、ウィリアム・ユーンなどがあります。独奏家として彼は、アカデミー・オブ・セント・マーチン・イン・ザ・フィールズ、ベルン交響楽団、ウィンタートゥール音楽協会、ヴェルテンベルク・ハイルブロン室内管弦楽団、台湾国立交響楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などと共演しています。また、ヨーロッパ全域の多くの公共放送協会でも活動しています。彼の最初の指導者はマグダレーナ・シュテルキ＝ハウリであり、その後、チューリッヒ芸術大学でヴァルター・グリマーに師事し、2005 年にトーマス・グロッセンバッハの指導の下、演奏家ディプロマを取得して卒業しました。ベンジャミン・ニフェネッガーは、スイスのセオンでの SeetalClassics コンサートシリーズの芸術監督です。2023 年には、ヴァイオリニストのユリア・フィッシャーと共に、スイスの伝統的なボスヴィル音楽祭の芸術監督に任命されました。そして、2024 年に SeetalClassics Tokyo の芸術監督に就任しました。